

2018 **11.1**
平成30年

議会から こんにちは

10月8日に佐野少年少女合唱団♪
dolce♪の第3回定期演奏会が田沼中央
公民館大ホールで開催されました。
合唱の美しいハーモニーに会場から大
きな拍手が沸き起こりました。



平成30年9月定例会

- 佐野市自治基本条例を可決
- 平成29年度決算を認定
- 決算審査特別委員会では延べ22人が質疑
- 一般質問に17人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会

検索



▽佐野市議会の様子をライブ中継と
録画により映像配信しています。

佐野市議会スマート中継

検索



平成29年度 一般会計、各特別会計、水道事業会計、病院事業会計決算を認定

決算審査特別委員会（パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます！）



副委員長
木村 久雄



委員長
春山 敏明

9月定例会には、平成29年度一般会計、各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月21日、25日、26日、27日の4日間にわたり審査を行いました。

委員会では一般会計15名、各特別会計等7名の委員が質疑を行い、執行部に対する決算審査要望書を取りまとめ、全12件の決算議案を認定しました。（議決の結果はP4のとおり）

平成29年度 決算の概要

●一般会計及び特別会計

会 計 名		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一 般 会 計		493億2,393万円	481億2,956万円	452億7,484万円	28億5,472万円
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	163億 212万円	158億6,929万円	146億7,584万円	11億9,345万円
	国民健康保険事業（直営診療施設勘定）	2億7,934万円	2億5,574万円	2億5,474万円	100万円
	公 共 下 水 道 事 業	38億2,514万円	36億2,557万円	35億5,887万円	6,670万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億8,245万円	1億6,667万円	1億6,353万円	314万円
	自 家 用 有 償 バ ス 事 業	1億5,943万円	1億5,365万円	1億5,335万円	30万円
	介護保険事業（保険事業勘定）	113億6,648万円	109億7,871万円	107億2,373万円	2億5,498万円
	介護保険事業（介護サービス事業勘定）	5,127万円	4,976万円	4,976万円	0万円
	後 期 高 齢 者 医 療	12億8,976万円	12億7,758万円	12億7,632万円	126万円
	西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業	7億1,631万円	7億1,382万円	7億1,377万円	5万円
	小 計	341億7,230万円	330億9,079万円	315億6,991万円	15億2,088万円
合 計		834億9,623万円	812億2,035万円	768億4,475万円	43億7,560万円

（注）各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●公営企業会計

区 分		予 算 額	決 算 額
水道事業会計	収 益 的 収 入	23億7,415万円	24億1,915万円
	収 益 的 支 出	21億7,637万円	20億8,861万円
	資 本 的 収 入	7億8,600万円	6億9,123万円
	資 本 的 支 出	18億3,436万円	15億 490万円
病院事業会計	収 益 的 収 入	9億2,597万円	9億3,453万円
	収 益 的 支 出	9億2,597万円	9億2,460万円
	資 本 的 収 入	1億4,239万円	1億3,909万円
	資 本 的 支 出	3億4,918万円	3億4,868万円



平成29年度決算審査要望書

1 (行政改革の推進)

平成18年3月に行政改革大綱を策定し行政改革を進め、一定の成果を挙げてきたが、本市を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しい状況にあることから、平成30年3月に第4次行政改革大綱を策定した。

今後においても、生産年齢人口の減少に伴う税収減、超高齢社会の急速な進展による社会保障費用の増大、市有施設の老朽化に起因する維持管理費用等の増大、多様化する市民のニーズ、新たに発生する行政課題等に対応すべく、第4次行政改革大綱の基本方針に基づき、引き続き積極的に行政改革の取組を推進されたい。

2 (防災・減災対策の推進)

近年は、毎年のように大規模な豪雨災害が発生している。本市においても様々な防災対策を行っているが、各地で発生した災害を本市に置き換えて検証する必要がある。

伝えることから伝わることを意識した情報発信・伝達の在り方や市民の危機意識の変革に課題があると思われるため、その解決に努められたい。また、自力での避難が困難な方々には、地域で支え合う「共助」が必要不可欠であるため、これまで以上に地域での避難訓練を実施するとともに、市民一人一人が情報に応じて自らの行動や対応を時系列に示すマイ・タイムラインの作成を推進し、減災対策を進められたい。

3 (子育て環境の整備)

待機児童は減少しているものの、その解消には至っておらず、保留児童が存在している状況においては、保育施設の量の確保が必要とされている。認定こども園への移行や小規模保育事業所の設置に対し支援を行っているが、保育需要に迅速に対応することができる民間活力を十分に活用し、人口動態や地域的バランスを考慮しつつ、保育施設の整備に当たられたい。

平成30年度から企業主導型保育事業に係る固定資産税を減額する特例措置を県内で初めて導入した。働きやすい環境づくりが女性の社会進出を後押しし、子育てがしやすい環境が整えば、それが本市の魅力の一つとなり、定住人口の増加につながるため、子育て環境の整備を更に進められたい。

4 (健康寿命の延伸に向けた取組)

平成30年4月に厚生労働省より公表された平成27年市区町村別生命表において、本市の平均寿命は男女ともに県内で一番短かった。健康寿命が延びれば、平均寿命は長くなると考えられ、また、医療費や介護費の削減につながるため、超高齢社会においては、健康寿命をいかに延ばすかが喫緊の課題である。

健康寿命の延伸においては、特定健康診査やがん検診の受診率の向上が肝要である。受診率向上の対策として、平成28年度から健診スタートブックの配付を始めたが、思うような結果につながっていないため、低い受診率の要因を分析し改善されたい。平成30年度より、特定健康診査の自己負担額を減額したり、健康ポイント事業の実施を始めたりにしているが、適度な時期に検証を行い、より良い制度の構築に努められたい。

5 (地域資源の有機的活用)

平成29年11月に全国山城サミットを開催し、唐沢山城跡に対する市民の歴史的価値の再認識につながり、その魅力を広く全国に発信することもできた。また、平成29年度に佐野市国際クリケット場を天然芝に整備し、平成30年8月に新たに開場した。さらに、一千年の歴史を持つ天明鋳物も有している。そのほかにも、観光、スポーツ、産業、文化にかかわる様々な資源があるため、これらの地域資源を有機的に結び付けた事業を展開し、本市のリーディングプロジェクトである「観光立市」「スポーツ立市」「産業・文化立市」を横断的に推進することにより、交流人口の増加を図られたい。

6 (介護予防の充実)

超高齢社会が進展し、高齢者の一人暮らし世帯や高齢夫婦のみの世帯が増加することが予測されるが、高齢者一人一人が住み慣れた地域で、健康で生き生きと暮らし続けることが望まれる。

そこで、本市の要支援・要介護認定率をみると横ばいの状況であるが、今後、上昇に転じることが想定されるため、生活習慣病や加齢・疾病による機能低下を防止するための健康づくりや介護予防を推進するとともに、生きがいを持って参加することができる場や地域での役割を担うことができる場の提供及びその支援の充実を図られたい。

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第 93号	平成29年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第 94号	平成29年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第 95号	平成29年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第 96号	平成29年度佐野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第 97号	平成29年度佐野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第 98号	平成29年度佐野市自家用有償バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第 99号	平成29年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第100号	平成29年度佐野市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第101号	平成29年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成多数
議案第102号	平成29年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 賛成全員
議案第103号	平成29年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定 賛成全員
議案第104号	平成29年度佐野市病院事業会計決算の認定について	認 定 賛成全員

○賛否が分かれた議案 (平成29年度決算議案)

	議決結果	賛成	反対	1 慶野常夫	2 川嶋嘉一	3 菅原達	4 木村久雄	5 横井帝之	6 早川貴光	7 小倉健一	8 金子保利	9 亀山春夫	10 小暮博志	11 本郷淳一	12 若田部治彦	13 横田誠	14 田所良夫	15 久保貴洋	16 鈴木靖宏	17 岡村恵子	18 鶴見義明	19 井川克彦	20 山菅直己	21 篠原一世	22 春山敏明	23 飯田昌弘	24 高橋功
議 案																											
議案第 93号	認 定 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第 94号	認 定 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第 99号	認 定 (賛成多数)	20	2	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第101号	認 定 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対

※井川克彦議長は採決に加わりません。

決算審査特別委員会質疑者一覧

一 般 会 計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	田 所 良 夫	9	久 保 貴 洋
2	早 川 貴 光	10	横 田 誠
3	飯 田 昌 弘	11	亀 山 春 夫
4	横 井 帝 之	12	岡 村 恵 子
5	高 橋 功	13	鈴 木 靖 宏
6	慶 野 常 夫	14	篠 原 一 世
7	菅 原 達	15	鶴 見 義 明
8	小 倉 健 一		



各特別会計、水道・病院事業会計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	鶴 見 義 明	5	田 所 良 夫
2	横 田 誠	6	岡 村 恵 子
3	飯 田 昌 弘	7	菅 原 達
4	鈴 木 靖 宏		



小倉 健一 議員

質問方式
一問一答
赤見地区における
市有施設適正配置
計画について

Q 赤見城保育園、石塚保育園、吉水保育園の統廃合における新たな民間保育所の建設場所として、廃止対象である石塚市営住宅平家住宅付近も選定案として検討しているのか。

A こども福祉部長

赤見城保育園、石塚保育園、吉水保育園を統合し、整備する新たな民間保育所の建設場所の選定については、平成32年度に作成する募集要綱の中で基本的に現在の3園の地域内において選定するよう応募条件に記載します。建設場所には市が提供する市有地を利用するの提案というケースも想定されます。石塚市営住宅の平家の敷地については、現在の石塚保育園に隣接し、交通の便などもよいと思いますが、おのこのスケジュールなどを含め新園の建設候補地としての可能性を検討していきます。

その他の質問

☆水に親しむ子どもの遊び場整備について
☆第2次国土利用計画佐野市計画について



春山 敏明 議員(新風)

質問方式
一問一答
洪水・土砂災害
ハザードマップの
更新について

Q 国の水害ハザードマップ作成の手引書には「家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水深等、生命身体に直接影響を及ぼす恐れのある区域について、市町村は早目の立ち退き避難が必要な区域として設定し、水害ハザードマップに表示」とあるが、表示の考えについて伺いたい。

A 行政経営部長

早期の立ち退き避難が必要な区域としての設定はしていませんが、堤防の決壊に伴う激しい流れによる家屋の倒壊や家屋の2階以上に浸水する区域等については、現在作成中のハザードマップに表示する予定です。

洪水等により早目早目の避難が必要な区域については、自主防災組織等へ、ハザードマップを活用した防災講話や避難訓練を通して周知を図りたいと考えています。

その他の質問

☆洪水・土砂災害ハザードマップの現況について



横井 帝之 議員(新風)

質問方式
一問一答
アリーナためま
メインアリーナに
ついて

Q 現在、メインアリーナの空調設備は排気と吸気のみとなっている。メインアリーナを冷やすためのエアコンは、設置されていないが、近隣の市有施設を見ると、足利市の足利市民体育館は空調設備完備となっており、栃木市の栃木市西方総合文化体育館は空調設備完備となっている。今年は厳しい暑さが続いたが、メインアリーナの天井に4本ある空調ダクトへエアコンをつなぐことができれば、室温の上昇を防ぐことが可能と思うが、エアコンの設置についての考えを伺いたい。

A 観光スポーツ部長

現在、体育館へのエアコンの導入についての計画はありませんが、今後、今年の夏のように猛暑が続くことも想定をされますので、エアコンの導入については今後の課題であると考えています。

その他の質問

☆公共施設の勉強スペースとしての利用について
☆佐野市堀米保育園国民営化実施への進捗状況について
☆「住みよさランキング2018」について
☆アステイネーションキャンベーン(DC)について



▲アリーナためまのメインアリーナ

金子 保利 議員

質問方式
一問一答
ゴルフ場利用税交付金を活かしたまちの活性化について

Q ゴルフ場を活かしたまちの活性化を実現するため、佐野ゴルフ場連絡協議会を立ち上げてもらいたい。

また、佐野市もゴルフ場利用税交付金を活用し、佐野市観光協会や関係団体、学校、地元企業、農家などと一体となり、千葉県原市や兵庫県三木市のようにゴルフ場やゴルフ場へ還元する事業ができると思うが、どうか。

A 観光スポーツ部長

ゴルフ場が利用促進されることは、スポーツツーリズムに貢献するだけでなく、一般財源であるゴルフ場利用税の確保にもつながるので、ゴルフ場連絡協議会の設立は、他市の取り組みを参考に、今後調査研究していきたいと考えています。先進地の取り組みを本市で進めていくことについても、同様に研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆公用車の運用とドライブレコーダーの設置について



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
防災、減災の取組について

Q 東部6号雨水幹線の延伸整備について、先日の雨でも植上町の医師会通りが冠水していた。この雨水対策としてどのような計画をしているのか、今年度と来年度、その後の推進整備計画があるのか伺いたい。

A 水道局長

植上町の佐野医師会病院東側の道路冠水は、市道1級3号線の北側地域の各道路側溝から流れてくる雨水が、1カ所の暗渠に集中することが原因でした。そこで、東部6号枝幹線を佐野医師会病院南交差点から西に1区画、そこから北上して医師会通りを横断し、既設側溝に接続させ、集中して流れてくる雨水を分散させる工事を30年度と31年度で実施します。今後の整備計画ですが、平成28年度に行った雨水流出シミュレーションをもとに、引き続き対策がとれるように進めたいと考えています。

その他の質問

☆児童生徒の学習環境について
☆新学習指導要領における小学校プログラミング教育について



久保 貴洋 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
主要地方道桐生田沼線整備について

Q 主要地方道桐生田沼線整備について、春高橋前後の未整備区間を今後どうしていくのか。

A 都市建設部長

主要地方道桐生田沼線は、栃木県で管理している道路ですが、新倉支所前の交差点付近には、新合診療所や新合郵便局、遠原の里福祉センターなどの公共施設があり、多くの市民が利用しています。県では、1級河川閑馬川を渡る春高橋のかけ替えを含む前後500mの線形と拡幅改良に向けた検討を始めるとのことです。30年度は平面図化を予定しており、新しい橋の架設位置などを含めた道路の法線等の検討を進め、事業費には概算で3億円を試算しているとのことです。本市としても、県との連携を図り、県と市の役割の中で、事業化並びに早期完成に向け、できる限りの協力を行っていきたく考えています。

その他の質問

☆市有施設適正配置計画における介護予防拠点施設(市内4施設)について



▲ 春高橋

慶野 常夫 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答
クビアカツヤカミキリ
について



Q 外来種であるクビアカツヤカミキリが平成24年に日本国内で初めて発見されて以来、全国各地に次々と分布し、拡大し、街路樹や果樹園で被害が出ている。吾妻地区には、モモ、ナシの直売所の「佐野フルーツライン」があり、この果樹園農家の方々や市内全ての果樹園農家でも大変被害を受けている状態である。本市ではクビアカツヤカミキリの駆除対策として、支援等はあるのか。もしなければ今後支援等を行えないものか伺いたい。

A 市民生活部長
30年度より栃木県が発生状況調査を開始しましたので、今後は栃木県及び近隣市と連携を図り、発生状況等を把握しながら、駆除対策に対する支援等について対応を考えていきたいと思えます。

菅原 達 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答
SDGsの推進と
森林・林業の主流化
について



Q SDGs※実施指針の優先課題⑥には、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するための具体的な取り組みが盛り込まれている。森林保護と両立させながら、林業の成長産業化を積極的に推進すべきであり、30年度策定予定の産業立市推進基本計画にできる限り反映させてもらいたい。いかがか。

A 産業文化部長
佐野市の豊富な森林資源を生かし、木材を有効活用することはもちろんのこと、観光や教育などの林業以外の分野とも連携しながら、広く市民の理解を得た新たな森林産業の創出を図ることも産業立市の推進につながるものと考えていますので、今後策定予定の産業立市推進基本計画の中で、重視すべき取り組み課題の一つとして多角的に検討していきたいと考えています。

山菅 直己 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答
ごみの集積などの
迷惑な現状について



Q 鉢木町地内に6年ほど前からごみを屋敷の中にため込んでいる住宅があり、側溝や歩道にもごみが積まれている。今までも3、4カ所で同じ人が集積している。今後、ごみがいっぱいになれば他のところへ行つてやるのではないかと思っている。近所に住まれている方の迷惑を考え、行政代執行を考える必要があるが、市の考えは。

A 市民生活部長
現在、佐野市では条例の規定がないため、いわゆるごみ屋敷に対して行政代執行を行うことはできませんが、今後効果的なごみ屋敷対策が行えるよう、行政代執行も可能とする条例の制定等に向けて取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

- ☆佐野市市有施設適正配置計画について
- ☆佐野市地域公共交通網形成計画について



▲ クビアカツヤカミキリ

その他の質問

- ☆地域防災力の強化と災害発生時の体制強化について
- ☆健康寿命延伸の対策と保健師の役割の見直しについて

※SDGs(エスディー・ジー・ズ)・・・2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された2030年を年限とする17の国際目標。
※実施指針の優先課題⑥・・・日本政府が策定したSDGsに対応する指針の⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全のこと。

その他の質問

- ☆市のイメージアップ・誘客について
- ☆葛生地区における中山間地域の活性化について





飯田 昌弘 議員(蒼生会)

質問方式
一問一答
不登校と少人数
学級編制について

Q あそ野学園義務教育学校が平成32年に開校する。開校時の見込み人数と学級編制は6年生が78人で2学級編制、1学級39人で、他の学年は全て3学級編制となる予定だが、児童は大人数の学級となり、大きな変化に対応しなければならない。きめ細やかな対応をするために6年生を1学級ふやすことが最善の策と考えるが、どうか。

A 教育長

あそ野学園義務教育学校は、7つの小学校が統合し、学校規模、通学距離など大きく教育環境が変化するので、児童生徒には様々な配慮や支援が必要だと考えています。しかし、市内の小学校でも、1つの教室で40人程度の児童が学習を行っている学級もあり、教育の公平性を考えると、実施する場合は、該当する全ての学校での実施を考えていますので、特例を設けることは考えていません。

今後統合される学校に配置されているさわやか教育指導員等をあそ野学園義務教育学校へ配置転換することについて、検討しています。

その他の質問

☆健康増進策について



横田 誠 議員(新風)

質問方式
一問一答
マイナンバーカード
の普及促進について

Q 行政改革大綱の実施計画の中に平成31年度から住民票、証明書のコンビニ交付を実施するとの記載があるが、平成31年度からコンビニ交付を実施するのか。

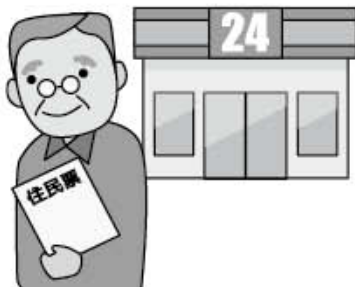
A 市民生活部長

県内他の自治体でもコンビニ交付の導入が進んでおり、本市でも平成31年度の導入を目標とする行政改革大綱を確かに作成しました。30年度は6月に先進地である狭山市を視察し、8月には民間事業者が主催する説明会等に参加して調査研究を進めています。現在、マイナンバーカードの交付状況、事務処理の増加、費用対効果等の課題に対する検証を引き続き実施していますので、31年度以降に導入したいと考えています。

その他の質問

☆学校二学期制について

☆学校トイレの洋式化の進捗について



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

質問方式
一問一答
猛暑対策について

Q 生活保護世帯への熱中症対策について、現実的にはエアコンが入っていないお宅があり、以前から保護を受けている方へのエアコンに対する特別策をどのように考えているのか。

また、生活福祉資金でエアコンを購入するための融資を受けた場合に、返済期間や返済方法はどのようになるのか。

A こども福祉部長

従前も基準に該当する場合は、エアコンの購入費用の支給をしていましたが、基準に該当しない場合は、社会福祉協議会の生活福祉資金の貸し付けを利用するよう案内しており、改めてそれ以前の方への特別策は考えていません。

また、貸付資金の償還は保護費から代理納付できるとする取り扱いが厚生労働省から示されて、実施されています。

その他の質問

☆2学期制の検証について





亀山 春夫 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

佐野市民の健康増進
について

Q 未病からの検診が特に重要であり、JAとの連携によりさらなる受診率向上を図るべきと考える。

健康は、全ての市民が生涯を通じて生き生きと暮らすための基本であり、健診会場を従前のように地域の公民館やコミュニティ等の市民に身近なところで実施できるよう利便性を考慮すべきと考えるが、市の見解は。

A 健康医療部長

地域での声がけは、受診のきっかけとなり、受診率向上に効果的ですので、今後ともJAへ協力をお願いしていきたいと考えています。

また、現在、受診率向上のため、実施時期や時間の検討に合わせて特定健康診査受診率の低い地域で集団健診を実施できる場所はないか検討しているところです。今後も受診される方の利便性を考慮し、健診会場については検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆過疎地の高齢者交通手段について



木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答

健康増進対策に
ついて

Q 日本の乳がん発生率は、女性12人に1人であるが、早期に発見すれば90%の割合で治るがんと言われている。また、新聞でも3年生存率が95%以上という報道もあった。

埼玉県朝霞市や東京都目黒区などで乳房自己検査補助用具である※ブレストケアクラブを導入し、乳がんの早期発見を推進しているが、本市でも同様に導入することで検診の受診率の向上を図ることが可能と考えるが、市の見解は。

A 健康医療部長

乳がんの自己チェックがしやすくなる自己検診補助用具の導入について、素手よりもしこりなどの症状を見つけやすくなるという利点があったわけですが、コスト面や皮膚疾患等で使用できない方もいることを考慮しながら、導入については研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆災害対策について

※ブレストケアクラブ・・・

乳がん自己検診補助グローブのこと。グローブをはめて触診を行うと、素手より触感の感度が高まり、異常を感じやすくなる。



田所 良夫 議員(新風)

質問方式
一問一答

観光立市について

Q 本年2月議会の一般質問の答弁で、「今後は天徳寺宝衍の認知度を高めるとともに、大河ドラマ等の誘致も含め、周知活動を検討していきたい。」とあったが、その後の進捗状況を伺いたい。

A 観光スポーツ部長

大河ドラマ誘致に関する広域的な協議会が全国各地に多数設置され、誰もが知る歴史上の人物を大河ドラマにしようとする動きが活発に行われていますが、最終的には、NHKによる市場調査や、その時代背景と現代の社会情勢との一致、脚本家の興味など様々な要素により決定するようです。

現状、天徳寺宝衍に関しては、まずは史実をしっかりと捉え、組織的かつ計画的に素材の魅力度と認知度を高めるための手段を講じることが重要であり、大河ドラマはその延長線上にある究極のゴールであると考えています。



▲唐沢山城イメージ図



若田部 治彦 議員(公明党議員会)

質問方式
一問一答

地域環境衛生問題
について

Q 犬のふん被害対策としてイエローチョーク作戦を提案するが、導入することについて、当局の見解を伺いたい。

A 市民生活部長

現在、犬のふん害対策としては、栃木県動物愛護指導センターで作成した、ふん害防止に関するチラシや市で作成した看板を配布し、犬の飼い主に対してマナーの意識向上を図っていますが、市に寄せられる犬のふん害苦情は、解消に至っていないのが現状です。

イエローチョーク作戦ですが、犬のふん害対策として効果的な手法の一つであるとの情報もあり、今後先進地の実施方法等について調査研究を行い、その結果を踏まえ本市に適した実施方法等について検討していききたいと考えています。

その他の質問

☆障がい者にやさしい街づくりについて
☆学校にシエスタ(昼寝)を導入することについて

※イエローチョーク作戦・・・

道に放置されている犬のフンを減らす方法として、フンの周囲を黄色のチョークで囲い、発見日時を書くことで飼い主に警告する取り組み。



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

質問方式
一問一答

介護保険と高齢者福祉について

Q 介護保険は10月から要介護者の生活援助サービスに回数制限が設けられ、上限を超えたケアプランは、地域ケア会議にかけるとしている。そうなれば、ケアマネジャーは回数制限の範囲での計画に追い込まれる可能性がある。今後必要な方がサービスを受けられるようにすべきであるが、市の考えを伺いたい。

A 健康医療部長

要介護者が必要なサービスを受けられるよう、ケアマネジャーへは今回の変更部分も含め、適正なケアプランの作成を指導していききたいと考えています。

また、今回の変更は利用者の自立支援にとって適切なケアマネジメントを担保するものであり、利用者が必要な生活援助サービスを受けることができるものと考えています。なお、地域ケア会議の参加者へは、単に回数などの検証ではなく、利用者の自立支援、重度化防止に沿ったケアプランになるよう適切に検証していただくよう説明していきます。

その他の質問

☆「自衛隊の山地機動訓練」を受け入れたことについて
☆小中一貫校と小中一貫教育について

平成30年9月定例会 審議された議案等と結果

9月定例会は9月7日(金)から10月1日(月)までの25日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等
	佐野地区衛生施設組合議会議員の選挙について【川嶋嘉一氏の当選】	当選決定 ー
報告 第10号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について【平成30年度の事業計画及び予算並びに平成29年度の決算】	報告 ー
報告 第11号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について【平成30年度の事業計画及び予算並びに平成29年度の決算】	報告 ー
報告 第12号	継続費精算報告書の提出について【インランドポート整備事業及び消防本部庁舎建設事業完了による報告】	報告 ー
報告 第13号	平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率について【平成29年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報告 ー

議案番号等	件 名 【内 容】	議決結果等	
報 告 第14号	市長の専決処分事項報告について【平成30年4月20日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報 告 第 15号	市長の専決処分事項報告について【平成30年5月26日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報 告 第 16号	市長の専決処分事項報告について【平成30年5月28日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報 告 第 17号	市長の専決処分事項報告について【平成30年7月1日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報 告 第 18号	市長の専決処分事項報告について【平成30年5月27日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議 案 第 79号	市長の専決処分事項承認について【平成30年度佐野市一般会計補正予算(第2号)】	承認	賛成全員
議 案 第 80号	人権擁護委員候補者の推薦について【山崎光子氏の任期満了により後任者に同氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議 案 第 81号	人権擁護委員候補者の推薦について【野尻真弓氏の任期満了により後任者に同氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議 案 第 82号	人権擁護委員候補者の推薦について【加藤清氏の任期満了により後任者に同氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議 案 第 83号	人権擁護委員候補者の推薦について【加藤敏子氏の任期満了により後任者に東好章氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議 案 第 84号	佐野市自治基本条例の制定について【本市の自治に関する基本理念を明らかにし、及び自治に関する基本的な事項を定めることにより、自治を推進するための条例の制定】	原案可決	賛成全員
議 案 第 85号	佐野市足利佐野都市計画事業駅南公園西土地地区画整理事業施行条例の制定について【足利佐野都市計画事業駅南公園西土地地区画整理事業を施行するための条例の制定】	原案可決	賛成全員
議 案 第 86号	佐野市運動公園陸上競技場改修工事請負契約について【佐野市運動公園陸上競技場改修工事】	原案可決	賛成全員
議 案 第 87号	あそ野学園義務教育学校校舎建築工事請負契約について【あそ野学園義務教育学校校舎建築工事】	原案可決	賛成多数
議 案 第 88号	あそ野学園義務教育学校既存校舎改修建築工事請負契約について【あそ野学園義務教育学校既存校舎改修建築工事】	原案可決	賛成多数
議 案 第 89号	あそ野学園義務教育学校既存校舎改修電気設備工事請負契約について【あそ野学園義務教育学校既存校舎改修電気設備工事】	原案可決	賛成全員
議 案 第 90号	あそ野学園義務教育学校既存校舎改修機械設備工事請負契約について【あそ野学園義務教育学校既存校舎改修機械設備工事】	原案可決	賛成全員
議 案 第 91号	佐野市営バス車両の取得について【佐野市営バス車両の取得】	原案可決	賛成全員
議 案 第 92号	損害賠償の額の決定及び和解について【平成30年4月20日に発生した交通事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	原案可決	賛成全員
議 案 第105号	平成30年度佐野市一般会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,284,666千円を追加、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議 案 第106号	平成30年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,087,451千円を追加、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議 案 第107号	平成30年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ800千円を追加】	原案可決	賛成全員
議 案 第108号	平成30年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ8,172千円を追加、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議 案 第109号	平成30年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ344千円を追加】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
議案第110号	平成30年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ256,190千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第111号	平成30年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,258千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第112号	平成30年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ69千円を減額】	原案可決	賛成全員
陳情第3号	犬猫の不妊、去勢手術費用助成金制度設置に関する陳情(詳細は12ページに記載)	採択	賛成多数
陳情第4号	患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情(詳細は13ページに記載)	不採択	賛成少数
陳情第5号	難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情(詳細は13ページに記載)	不採択	賛成少数

賛否が分かれた議案等

	議決結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達雄	木村久雄	横井帝之	早川貴光	小倉健一	金子保利	亀山春夫	小暮博志	本郷淳一	若田部治彦	横田誠	田所良夫	久保貴洋	鈴木靖宏	岡村恵子	鶴見義明	井川克彦	山菅直己	篠原一世	春山敏明	飯田昌弘	高橋功
議案等																											
議案第87号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第88号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
陳情第 3号	採択 (賛成多数)	18	5	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長	○	○	○	×	×	
陳情第 4号	不採択 (賛成少数)	4	19	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	議長	×	×	×	×	×	
陳情第 5号	不採択 (賛成少数)	8	15	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	

※○＝賛成または採択、×＝反対または不採択

※井川克彦議長は採決に加わりません。

陳情の審査結果

陳情第3号 犬猫の不妊、去勢手術費用助成金制度設置に関する陳情

▼陳情人

栃木県不幸な動物を無くす会 平山 俊幸

▼陳情の要旨

県民の動物愛護精神の醸成、繁殖して不当に捨てられることがないように助成金制度の設置をお願いします。

▼審査結果

本陳情は、9月定例会において厚生常任委員会に付託され、審査の結果、賛成多数で採択されました。同定例会本会議においても、賛成多数で採択されました。

陳情第4号**患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情****▼陳情人**

栃木県保険医協会 会長 長尾 月夫

▼陳情の要旨

費用の心配なく、医療を受けられるよう、次の事項について国への意見書提出を求めるものです。

(1) 患者負担を増やさないでください。

ア 75歳以上の窓口負担を原則 1 割から 2 割にしないこと。

イ 受診するたびに100円～ 500円を窓口負担に上乗せしないこと。

ウ 痛み止めなど、薬の「保険はずし」や患者負担を増やさないこと。

(2) 費用の心配なく安心して受診できるよう、窓口負担を軽減してください。

▼審査結果

本陳情は、9 月定例会において厚生常任委員会に付託され、審査の結果、賛成なしで不採択となりました。同定例会本会議においては、賛成少数で不採択となりました。

陳情第5号**難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情****▼陳情人**

栃木県保険医協会 会長 長尾 月夫

▼陳情の要旨

難病の方が費用の心配なく医療を受けられるよう、次の事項について国への意見書提出を求めるものです。

(1) 難病医療費助成(小児慢性特定疾患を含む。)に当たって必要な臨床調査個人票(診断書)の料金を補償する制度を創設し、新規認定時及び更新認定時に公費助成を行うこと。

(2) 次の事項について平成26年12月以前の取扱いに戻すこと。

ア 市町村民税非課税者及び重症者の自己負担をなくすこと。

イ 調剤薬局の薬代及び訪問看護費の自己負担をなくすこと。

ウ 入院時食費の給付外しをやめ、自己負担限度額に含めること。

エ いわゆる「軽症者」の対象除外を行わないよう、56疾患の認定基準を平成26年12月以前より厳しくしないこと。

(3) 月額自己負担上限は患者単位とし、限度額を平成26年12月までの基準に引き下げること。

(4) 患者数を理由に対象疾患外しを行わないこと。

▼審査結果

本陳情は、9 月定例会において厚生常任委員会に付託され、審査の結果、賛成少数で不採択となりました。同定例会本会議においても、賛成少数で不採択となりました。



第3回 佐野市議会 議会報告会を 開催しました。

佐野市議会では第3回目となる議会報告会を開催しました。前回に引き続き3会場での開催となりましたが、どの会場も多くの方にご参加いただき、貴重なご意見を伺うことができました。誠にありがとうございました。

皆様からのご意見は今後の議会活動に活かしてまいります。

☆参加者総数 125名

☆議会報告会の内容は以下のとおりです。

- 1 開会あいさつ
- 2 議会報告(内容は下表のとおり)
- 3 質疑・応答
- 4 意見交換
 - (1)グループでフリートーク
 - (2)意見発表まとめ
 - (3)議員による班発表
- 5 閉会のあいさつ



〈田沼会場〉

議会報告の項目	開催日時	会場	参加者数
○市有施設適正配置計画について ○葛生・常盤中学校区小中一貫校について ○葛生地区における中山間地域の活性化について ○葛生地区における鳥獣被害対策について	7月5日(木) 午後6時30分	葛生あくとプラザ (小ホール)	22名
○市有施設適正配置計画について ○田沼西地区小中一貫校(あそ野学園義務教育学校)の整備について ○田沼地区における中山間地域の活性化について ○田沼地区における鳥獣被害対策について	7月9日(月) 午後6時30分	田沼中央公民館 (視聴覚室)	31名
○市有施設適正配置計画について ○佐野地区における子育て支援策について ○国道50号沿線開発構想の策定について ○中心市街地(佐野駅周辺)の活性化について	7月11日(水) 午後6時30分	佐野市役所 (委員会室)	72名

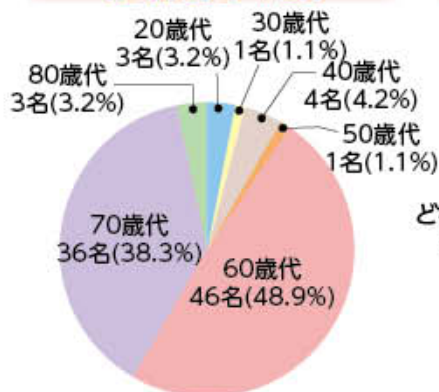
★議会報告会に参加された方からいただきました 主な意見を紹介します。(抜粋)

意見交換 ☆フリートーク

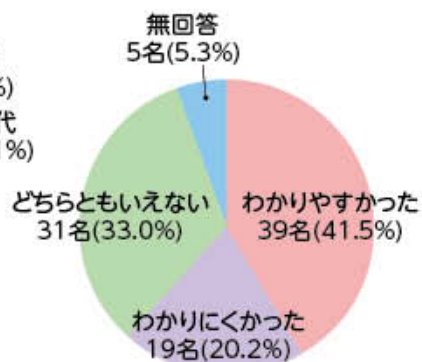
- ・佐野市も人口が減って行く中で、市有施設として絶対必要なものは残して、それ以外は削減しないと、財政が厳しくなると思う。
- ・改修が必要なブロック塀のある学校の対応策はどのようになっていますか。命の大切さを第一に考えて欲しい。
- ・田沼西地区小中一貫校の開校に伴って、廃校になる学校の話が出にくい傾向があります。廃校する学校をどのようにするのかを今のうちから考えていただきたい。また、廃校になった場合は同時にその地域の避難場所をどのようにするのか検討していただきたい。
- ・熱中症の予防のためにできることを議会でも提案していただきたい。
- ・待機児童ゼロを目指す要望を議会からもしていただきたい。
- ・出流原インター周辺開発について、スマートインターと一体的な整備ができるように執行部と取り組んで欲しい。

★アンケート結果

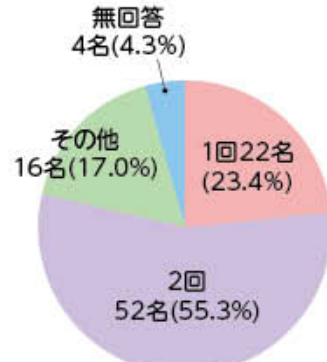
〔参加者の年齢〕



〔報告会の内容〕



〔報告会の開催回数〕



アンケートからのご意見

- ・意見交換の時間が短く、あと30分くらい欲しい。このような機会は有意義なのでさらに継続をお願いしたい。
- ・民意が市政に反映されるよう議員の方々に努力していただきたい。
- ・班別のフリートークは人数が多く、発言することができなかったのは残念だった。
- ・若い人達や女性の方々へのアピール方法を考え、開催時間を考慮し、参加者の増加を図って欲しい。
- ・子育て支援として保育士を増やし、子どもの受け入れを増やして欲しい。
- ・少子高齢化の問題を考えて欲しい。
- ・佐野地区、田沼地区、葛生地区ごとの議会報告会のほかに市全体の議会報告会を年1回程度開き、合併後の一体感の促進を考えてはどうか。



12月定例会日程(案)

平成30年12月定例会の日程は、11月30日(金)の議会運営委員会で内定し、12月7日(金)の本会議で決定します。※日程は変更になることがあります。

11/26日(月)	27日(火)	28日(水)	29日(木)	30日(金)	12/1日(土)	2日(日)
		請願及び陳情提出 期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)
				10:00 本会議 (議案説明)	休会	休会
10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)	23日(日)
9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決)		

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は午前10時に、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

10月11日に あそ野学園義務教育学校の 工事現場を見学しました。



▲新校舎建設予定地と建設中の体育館



全景イメージ図

編集委員会

委員長 川嶋 嘉一
委員 横田 誠
委員 菅原 達
委員 亀山 春夫
委員 久保 貴洋

編集後記

9月定例会では17名による一般質問と、平成29年度の決算議案を含む34議案と陳情3件の審議が行われました。中でも「佐野市自治基本条例」において、市民のご尽力が基となり、制定に至ったことは、協働による自治を進める上で意義のあることでした。

7月には、初の試みとして各常任委員会における所管事務調査を行い、議会が閉会中においても市の考え方や事業の進捗状況などを確認しました。

今後とも、更なる議会改革に努めてまいります。

(菅原記)

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 佐野市議会 議会からこんにちは 2018.11.1 ⑩

佐野市議会事務局
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp